

事務事業名		社会資本整備総合交付金事業(舗装修繕)			会計	一般会計				
課等名		土木課			事業種別	政策		開始	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり						
		施策	44	交通機関と道路の充実						
目的	対象(誰・何を)	大規模に補償修繕が必要な市道			対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	舗装の供用性能を一定水準以上に保つ				修繕実施:箇所			1	
	向上させたい上位施策の成果指標	市内の移動に不便を感じる市民の割合(道路):%								
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	修繕施工路線数:路線			1	1	2	1		
	定性目標									
事業概要	社会資本整備総合交付金にて整備する路線を市道の維持管理方針により点検評価を行い選定し、順次整備を行う。 市道1-11号文化会館線 L=350m W=16.0~25.0m 上郷3号線 L=500m W=6.2m									
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	舗装修繕工事 1-11号文化会館線				1 修繕路線数			1 1路線		
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		0	76,492	20,233	11,259	(国)社会資本整備総合交付金(5.5/10) (地)公共事業等債(充当率90%) 24→25繰越明許額55,860千円				
国庫支出金			41,525	10,807	5,500					
県支出金										
起債			30,500	7,900	4,000					
その他										
一般財源			4,467	1,526	1,759					
人件費計(千円)②		0		5,722						
正規職員所要時間				1,600						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		0	76,492	25,955	11,259					
事業内容・目標達成状況の振り返り	市道1-11号文化会館線の24年度事業は完了した。 重要路線の劣化の度合いについて点検を実施し、短期の修繕計画を作成した。									
改革改善の考え方	①問題点	重要度に応じて修繕を実施する必要がある。								
	②改革提案	市道の重要度及び劣化の度合いを勘案し修繕計画を作成する。								